

皆様、ご協力ありがとうございました!

新潟県中越地震義援金



大洗町立 磯浜小学校のみなさん

ボランティア委員が中心となって積極的に募金活動を行ない、「新潟県中越地震災害義援金」として103,828円を寄付してくださいました。「みんなの心が新潟県の被災者のみなさんに届きますように」、とのあたたかい思いが込められています。

“日立市出身”の 元力士で現在歌手の 大至伸行さん

12月11日に県民文化センターで行ったコンサートのチケット売上金の一部100,000円を「新潟県中越地震災害義援金」として寄付してくださいました。また、コンサート当日は受付で積極的に募金を呼びかけていただき、設置された募金箱には来場者から99,296円の寄付が寄せられました。

NHK 海外たすけあい

今年度も海外で発生した災害や紛争による被災者支援、開発途上国の開発協力を実施するための救援金募集を12月1日から25日まで行い、茨城県支部には974,645円の寄付が寄せられました。

またキャンペーンの一環として、12月11日にNHK水戸放送局においてチャリティイベントを実施し、日赤展示コーナーの設置・豚汁販売等を行いました。寒い日であったため、温かい豚汁が近くの親子連れやお年寄りに好評でした。なお、売上金は「海外たすけあい救援金」とさせていただきます。皆様のご協力誠にありがとうございました。

平成16年度 義援金・救援金受付状況

平成17年2月1日現在

義援金・救援金名	件数	金額(円)	義援金・救援金名	件数	金額(円)
新潟県梅雨前線豪雨被害義援金	45	5,397,264	宮崎県台風23号被害義援金	6	113,572
福井県高気圧被害義援金	26	1,591,496	香川県台風23号による豪雨災害義援金	8	139,345
徳島県台風10号関連被害義援金	10	163,163	新潟県中越地震災害義援金	1,652	100,099,650
台風15号と前線に伴う大雨による被災者義援金	3	86,989	岐阜県台風23号災害被災者義援金	5	84,733
宮崎県台風16号被害義援金	3	34,980	台風23号兵庫県被災者義援金	7	195,087
台風16号岡山県高潮等被災者義援金	4	74,092	京都府台風23号被災者義援金	1	33,333
香川県台風16号による高潮災害等義援金	3	29,450	徳島県台風23号被害義援金	2	41,211
愛媛県台風16号被災者義援金	1	9,600	三宅島災害義援金	0	0
広島県台風18号被災者義援金	4	36,411	スマトラ島沖地震被災者救援金	78	7,268,959
三重県9.29新潟災害被災者義援金	1	300	海外無指定救援金・海外各地域指定義援金	4	54,192
愛媛県台風21号被災者義援金	5	57,634			
台風22号の災害静岡県義援金	6	53,050			
			合計	1,874	115,564,511

受付中
H17.10.24

受付中
H17.3.31

受付中
H17.3.31

随時受付中

これらの義援金、救援金は日本赤十字社茨城県支部を通して、被災地の皆様に送金しています。

ボランティアによる 地域高齢者生活支援事業

町赤十字奉仕団をモデル奉仕団として指定し、平成14年度から3カ年計画で生活支援活動を実施してきました。

最終年度となる今年度は、従来の活動に加え同町の青少年赤十字メンバーも参加しての活動にあたりました。

町赤十字奉仕団の分団の一つである佐原分団(分団員12名)では、平成16年12月10日に大子町立さほら小学校の青少年赤十字メンバー(24名)とともに、地域の独居老人を「さほらふれあいセンター」に招きました。

奉仕団員手作りの昼食で会食した後、青少年赤十字メンバーが笛、音読、よさこいソーランなどを高齢者に披露し、高齢者達からは大きな拍手や笑顔が溢れ会場内は盛り上がり、暖かい雰囲気の中で一日となりました。

同町では、佐原分団のほか山田分団・依上分団においても、同様の活動を実施し高齢者の生活支援に貢献しています。



ボ

ランティ
アによる

地域高齢者生活支援事業は、少子・高齢社会の到来によるさまざまな問題点を解決するため、日本赤十字社が、全国的に展開している活動です。

日本赤十字社茨城県支部では、大子

ア

青少年赤十字の
国際交流事業

シア・大平洋地域22の国と地域から日本に集まって開催された「青少年赤十字国際交流事業」が、去る11月12日〜24日で行われ、日本の青少年との交流を図りました。

本県には13日から1週間、インドネシアの青少年赤十字メンバー3名が来県し、県内の中学生・高校生との交流を図りました。

高校生連絡協議会の企画による



ウエルカムパーティーを兼ねた国際交流集会を県立水戸第三高等学校を会場に約60名が参加し、情報交換や昼食作り等で親睦を深め、文化交流を行いました。

学校訪問では、日立市立駒王中学校・県立日立一高・県立竹園

高校において、一日体験入学や交流会で中学生・高校生と共に日本の学校を体験し、県立佐和高校では、生徒による三味線の演奏や書道体験をし、日本の文化に触れました。

この一週間、インドネシアJRCと触れ合った児童・生徒が、自らの英語を駆使し、積極的にコミュニケーションを図っていたのが印象的でした。

成分献血

400ml 献血にご協力を



茨城県の献血者数は、ここ数年減少を続け、平成16年は98,420人(前年比96.1%)で、県内で必要とする輸血用血液の91.4%を県民の皆様からの献血により確保することができましたが、不足分の8.6%については、県外から血液を受入れて患者さんにお届けしているのが現状です。

血液センターでは、輸血用血液を患者さんへ確実に届けるため、県内献血で完全確保できるよう、成分献血、400ml献血の推進に努めています。

特に、成分献血者の減少が著しく、お一人でも多くの方に水戸、つくば、日立の各献血ルームでの成分献血にご協力頂きますようお願い致します。

乳児院 クリスマス会



昨年12月22日、支那乳児院の大ホールにおいて、入所児及び家族、保育者、ボランティアの参加によるクリスマス会が催されました。

最初、会場の雰囲気になじめなかったのがほとんどの子がぐずったり、緊張した顔を強ばらせていましたが、ボランティアによる歌がはじまると、泣いていた子も泣きやみ、家族や保育者の膝の上で笑顔になってきました。

可愛い衣装で歌を披露する頃にはすっかりご機嫌になり、職員のパープサートによる「あわてんぼうのサンタクロース」もとても喜んで見せていました。

家族の皆様もわが子の成長に目を細めていた様です。

クライマックスのサンタクロースの登場では、最初は驚いていた様ですが、ひとりひとり名前を呼ばれると少し緊張しながらも、嬉しそうにプレゼントを受け取っていました。

外の日差しも穏やかで終始なごやかにすごすことができました。

賛助奉仕団 30 周年を迎えて

茨城県青少年赤十字賛助奉仕団委員長 田代 浩

この度、賛助奉仕団設立30周年の記念すべき年を迎え、これまで団を支え、発展させていただいた諸先輩をはじめ関係者の方々に深く感謝申し上げます。

また、「記念誌さんじよ 第3号」を発刊できましたことは、今後の発展の大きな基礎になるものと思います。



30周年記念誌

今後は、30周年を機に賛助奉仕団として意を新たに、何をすべきか、どのように活動すべきかを念頭に従来の行事・事業を見直し、奉仕団の未来像を検討し、役割を確認するとともに、指導者協議会や県教委をはじめ他の奉仕団との連携を深め、青少年赤十字活動が発展できるように、また加盟校が増加するように活動していきたいと思ひます。



赤十字救援車を配備

日本赤十字社茨城県支部では、県内の日赤地区・分区（各市町村の赤十字窓口）における災害救護体制の充実強化のため、昭和46年から赤十字救援車の配備を行っています。

平成16年度は、ライトバン・軽貨物・中型貨物8台を、県内8地区・分区へ配備致しました。

これらの車輛は、県民の皆様から頂いた赤十字活動資金（社費・寄付金等）により購入したものです。災害救護活動や社会福祉活動等、幅広く活用させていただきま



平成16年度 赤十字救援車配備先（8台）

水戸市、下館市、結城市、取手市、東海村、旭村、波崎町、結和町

血液検査システム 多項目自動血球分析装置を整備



多項目自動血球分析装置 XE-AlphaN

水戸赤十字病院では、昨年11月15日に「鏡輪」から補助を受けて、血液検査用「多項目自動血球分析装置 XE-AlphaN」を整備いたしました。

この装置は、生活習慣病と言われる心臓病・高血圧・糖尿病・脳障害等の疾病診断、血液中の各種細胞の標本作成が自動化され、診断効率の向上や研究等の情報源として診療側に大きく貢献できる機器であります。

当院への患者様は年々増加傾向にあり、外来受診者に対しまして、診療前に迅速な検査結果が得られ、疾病状態の把握及び治療方針の決定をするために大きな成果をあげることができます。

また、地域におけます生活習慣病の予防及び早期発見等疾病診断に大きく期待が寄せられております。

愛知万博に「赤十字パビリオン」出展

3月25日～9月25日

日本赤十字社は、愛知県で開催される「愛・地球博」に「赤十字パビリオン」を出展いたします。

1867年のパリ万博に佐賀藩から派遣された佐野常民が、会場で赤十字の展示を見聞した事に触発され、博愛社（日赤の前身）が設立された経緯があることから、この度愛知万博に出展することとなりました。

これを機に、より多くの人々に「赤十字」を知っていただき、更なる発展へとつなげたいと願っています。



佐野常民記念館

開館

昨年10月11日、日本赤十字社の創設者である「佐野常民記念館」が緑のある佐賀県川副町に開館いたしました。

赤十字の歴史に触れることのできる記念館へどうぞお越し下さい。



「平成17年度予算を審議」

1月31日、第98回支部評議員会が日本赤十字社茨城県支部（水戸市小吹町）で開催されました。

この日、出席した評議員は31名で、横本支部長が開会あいさつをし、齋藤副支部長が議長をつとめ、支部並びに水戸、猿島両赤十字病院、血液センター及び乳児院の「平成17年度事業計画」と「平成17年度歳入歳出予算」について審議し、全議案とも原案どおり承認されました。

お問合せ先… 日本赤十字社茨城県支部 TEL.029-241-4516